沖縄県伊江村
議会広報

いえそん

3月
12月 2024年 No.184 6月
9月

伊江村議会事務局

注目記事
トピックス

どんな質問したの？ P2~7

今月の表紙紹介 P16

・パラシュート 落下NO！ …… P9
・議会に届いた あなたの声！！ …… P11
・やったぞ 最優秀賞！！ …… P12
・私たちの未来 …… P14

女性の活躍！！
ダブル金賞！！
うれしいッちゅん！！

ここを問う

一般質問の詳細については、ホームページの第9回定例会をご覧ください

島らっきょうの拠点産地としての取り組みを

関係機関と協議を実施し、冷蔵庫の新設等を含め検討する

村長

伊江村の島らっきょうは、平成19年12月26日に沖縄県の農林水産戦略品目の拠点産地※1に認定され、新型コロナ等の影響により、暴落していた価格も回復し県内外から島らっきょうの有名産地として認知されている。一方、生産者は高齢者が多く後継者の育成による生産規模拡大や高齢者の生産を維持するには、種苗と出荷調整等の冷蔵保管、植付け・収穫時の機械化による農作業の軽減が重要になる。そこで2点ほど伺う。

問　島らっきょうに対する村独自の支援や補助事業はあるか。

答　村長

本村は島らっきょうの拠点産地として広く認知され、令和4年度の10アール当たりの販売額は過去最高を記録している。

一方、生産出荷体制についてはJA等の組織出荷と比較し、年々個人出荷が増加している。拠点産地に求められる「組織力」「定時・定量・定品質」の出荷原則に基づき、市場から信頼される産地の形成には、新たな生産団体の立ち上げを含め、組織としての品質管理や既存補助金の活用等による取組を推進する必要がある。現時点において一括交付金等を活用した村独自の島らっきょうに対する補助事業はない。

問　JAが村から指定管理している伊江村農産物第二集出荷センター内の冷蔵施設は、耐用年数を超過しているが、改修や新たな施設整備の計画はあるか。

答　村長

伊江村農産物第2集出荷センターは平成2年度に民生安定施設整備事業で竣工し、耐用年数は建屋が38年、付帯設備の冷蔵庫冷蔵施設が15年となっており、冷蔵施設は大幅に耐用年数を超過している状況である。昨年度はドア及び天井の修繕、今年は冷蔵機械が故障し修繕を行って運用を図っている。現在、具体的な冷蔵施設の施設整備計画はないものの、これまでの島らっきょうの保管状況や今後の島らっきょうの生産振興を図る上でも、JA及び生産者団体等と協議を実施し、修繕または新たな場所への新設を含め検討を進めている。

『ひっぱりくん』実演会

公衆トイレ設置による女性観光客・農業従事者に優しい環境を

現時点において、トイレ設置の計画はない

村長

令和4年12月定例会において、城山麓の公衆トイレ設置について一般質問を行ったが、答弁に、案内板の設置による誘導と駐輪実績等の調査をするとあったが、その調査結果は。また、農業に従事している女性の皆様からも住宅地から離れた地域に公衆トイレ設置の要望があるが、調査し設置を計画できないか。

答　村長

観光地や公園等のパトロールを行いながら、城山の麓（ふもと）も目視による確認を行い、夏休み期間中に自転車やバイクの利用者が多く、最大で20台ほどが駐輪し、修学旅行生のサイクリングでは50台ほど駐輪を確認している。城山中腹に公衆トイレがある旨の案内板は、現在駐輪場に設置している。村内のトイレのある公共施設の位置を調査したところ、土地利用の性質上、米軍提供施設用地や農振農用地を避けるように公園等が整備され、農地の近くは必然的に公共トイレが存在しない場所が多い状況である。

新たなトイレの設置については村単独事業となることや、観光客等が多く訪れる公園等と比較し、低い利用率が想定されることから公共事業としての妥当性や、限られた財源をその時々の社会情勢を鑑みて優先順位を意識しながら事業を実施する必要があることから、現時点において、計画はない。

島袋（しまぶくろ）　勉（つとむ）　議員

※1　拠点産地
産地の体制や意欲など一定の条件を満たす産地を「拠点産地」として沖縄県知事が認定し、生産農家、JA、行政等が一体となって産地力の強化に努めている。

村政の

軽度・中等度難聴児及び加齢性難聴者の補聴器購入等に対する助成制度はできないか

村長　新年度予算に向けて、要綱などを整備していく

問　平成27年度から「沖縄県軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業」が実施され、多くの市町村で助成事業が導入されているが、本村においては、軽度・中等度難聴児への支援措置がなされていない状況にある。難聴児の言語発達や教育上の不利益にならないように、難聴児補聴器購入費等の助成はできないか。

答　村長

県内では、28市町村で同助成事業を活用し、本村では平成27年度の事業施行から活用・支援措置はない。現在村内に軽度・中等度難聴児はいないが、沖縄県及び各市町村の情報収集と事業実施要綱の整備を進め、補聴器購入費等の助成に向け取り組んでく。

問　本村では軽度・中等度難聴児は存在していないとのことだが、難聴児の補聴器助成事業の申請があった場合には、適正な支援措置が遅滞することになり、難聴児とその保護者に不利益を与えることになる。難聴児がいる、いないに関わらず、難聴児の支援の観点からもスピード感を持って助成制度を整備する必要がある。そのスケジュール感はどうなるのか。また、難聴児は、18歳未満が対象となるが高校生についても難聴児がいないのか。

答　福祉課長　島袋裕次

今年度中、早めに対応し、新年度の予算化に向けて取り組んでいく。18歳未満については、現在、把握していない。実態の把握にも努めていきたい。

問　難聴児支援の推進に当っては、早期の補聴器装用、教育的介入が重要であり、福祉医療、教育機関が連携を図りながら難聴児とその保護者に対してきめ細やかな適切な対応を講じることが重要と考えているが。

答　福祉課長　島袋裕次

福祉課、教育委員会、医療保健課と連携を図りながら、しっかりと支援等をしていきたい。

耳かけ型の補聴器

問　県内の複数の市町村が加齢性難聴者を対象に補聴器購入費を補助している。加齢性難聴は、コミュニケーションに支障を来すことで日常生活を不便にするばかりではなく、聴力の低下はうつ病や認知症の危険因子になることも指摘されている。補聴器が必要な高齢者の経済的負担を軽減し、日常生活を快適に過ごせるよう加齢性難聴者への助成策を講じることはできないか。

答　村長

村で実施した介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、「耳の聞こえ」について、回答者のうち29％の方が聞こえづらさを感じているとの回答があった。全国的にも本助成事業を実施する機運が高まっている状況にあり、実施市町村の要綱、実績等を調査し、事業構築に向けて取組んでいく。

問　今回実施されたアンケート調査の回収率を教えていただきたい。

答　住民課長　平敷兼清

対象者1，375人で、現在のところ回収率が52％となっている。

問　本村の65歳以上の方の多くの高齢者が日常生活で何らかの支障のある難聴者と推測される。難聴は高齢者にとって、とても身近な健康問題と言える。助成制度の創設に向けて今後どのようなスケジュールで進めていくのか。

答　住民課長　平敷兼清

スケジュールとしては、新年度予算に向けて計上を目指し、事業構築に取り組んでいきたい。

問　補聴器購入費用の助成により、高齢者その家族の経済的負担を軽減し、高齢者にとっても生活の質を落とさず心身ともに健やかに過ごせることができれば、認知症の予防、健康寿命の延伸、ひいては医療費の抑制にもなり、総合的な高齢化福祉対策の推進にもつながると思うが、村長のご意見を伺いたい。

答　村長

4月の新年度に向けて、要綱整備もしながら、予算化をし、平等に補助制度が確立できるよう努力してまいりたい。

宮城（みやぎ） 弘和（ひろかず） 議員

伊江村こども医療費助成の現物給付（高校生等）まで拡充を

村長 令和6年4月から高校生のこども医療費現物給付を実施したい

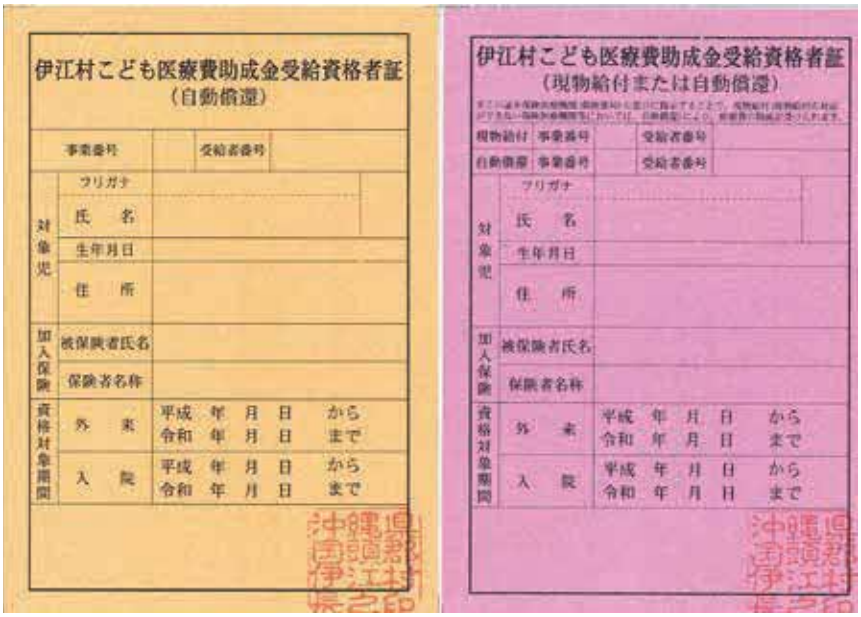
問 伊江村こども医療費助成に関する条例は、「こども医療費の一部を助成することによりその保健の向上を図り、もって子供の健全な育成に寄与することを目的とする。」と平成6年6月に施行されている。また、平成28年11月施行の、こども医療費助成事業現物給付実施要綱が施行され、中学生まで窓口負担なしとなり、より医療が受けやすい環境が整備された。

しかし、中学卒業後、高校生等（18歳を迎えた3月31日まで）医療費無料となってるが、窓口にて一時立替払いを行う必要があり、持ち合わせの現金などの不安から、適切な時期に医療を受けられない可能性があると思うが、高校生等まで現物給付の対象とすべきではないか、以下について伺う。

①北部圏域で高校生（18歳）まで現物給付実施市町村は。

②現物給付拡充する場合、システム改修等多額の予算が必要か。

③制度拡充をすることにより事務負担は。



こども医療受給者証

答 村長

現在、こども医療費助成は、ゼロ歳から中学生までは医療機関の窓口支払いがない「現物給付」、高校生は、窓口で自己負担額を一旦支払う「自動償還」となっている。親元を離れ生活する高校生が急な病気やけがなどで医療機関を受診する際には、現物給付で受診することが望ましいと考えている。

①「北部圏域で高校生（18歳）まで現物給付を実施する市町村は」については、名護市、国頭村、大宜味村、東村、金武町、恩納村の6自治体である。

②「現物給付に拡充する場合、システムの改修等多額の予算は必要か」については、沖縄県や国保連合会、他自治体への状況確認を行い、システム事業者との協議では、軽微な手続きで対応できるとの事で、多額の予算を要せずに現物給付への移行が行える。

③、制度拡充の初年度には、高校生全員を対象に現物給付の受給資格証の更新手続きが必要となる。また、国保連合会からの医療費請求等の例月支払い事務については、現物給付として一元化されるので事務負担は生じないものと考えている。

村としては、引き続き関係機関と調整を行い、令和6年4月から高校生のこども医療費の現物給付を実施していきたい。

内間（うちま） 広樹（ひろき） 議員

島らっきょう等を保管する冷蔵施設の計画はないか

村長

関係団体等と協議し、修繕または新設も含め検討していく

問 島らっきょうの拠点産地である本村は、責任産地として品質向上を図ると共に、安定的な生産と出荷を維持していくことが大切と考える。

早めに島らっきょう生産農家の意見を集約し関係機関と協議を重ね冷蔵施設の計画を推進することは、重要な政策と考えるが村長の見解を伺う。

答 村長

現在、具体的な冷蔵施設の施設整備計画はないものの、これまでの島らっきょうの保管状況や今後の島らっきょうの生産振興を図る上でもJA及び生産者団体等と協議を実施し、修繕または新たな場所への新設を含め検討を進めていく。

問 令和6年度には事業要求し、令和7年度には活用ができる計画は。

答 村長

今後様々な補助事業をやっていくためには、しっかり数値を押さえていく中で、できるだけ早く担当課を通して生産団体、そしてJAと協力していきながら、全ての事業を模索しながらやっていきたい。

伊江村に自生する希少植物をハイビスカス園で活用できないか

村長

子どもの森広場周辺も含め、自然に繁殖できないか検討したい

問 伊江村には、イエシマチャセンシダをはじめボウコツルマメ、ヒメハマナデシコ等の希少植物が、村内に自生している。ボウコツルマメは、沖永良部と県内の有人島では伊江村だけに自生する植物で、国の絶滅危惧種1A類[※2]（最高ランク）に指定されている。現在はリリーフィールド公園や湧出展望台付近に自生しているが、今後状況によっては絶滅することも危惧され、早めにボウコツルマメの保存を検討する必要がある。そこで、ボウコツルマメをはじめとした島の希少植物群落をハイビスカス公園で栽培し、同公園のさらなる充実を図る考えはないか。

答 村長

伊江村には数多くの植物が自生し、特に城山周辺には稀少植物で島固有のイエジマチャセンシダをはじめ様々な植物が自生している。

ボウコツルマメの栽培については、3年ほど前にハイビスカス園とパークゴルフ場との間の土手に栽培し、きれいに花が咲いたということを聞いており、今後も子どもの森広場の通路周辺も含め、自然に繁殖できないか検討したい。

ボウコツルマメ

問 村内に自生する希少植物については、保存ができる体制づくりが重要であり、その体制を築いていく考えは。

答 副村長

知識人をお招きして、伊江島の植物、樹木について例えば散策をしながら木の名前を覚えたり、学習会を通して島の樹木や花に関心を持ちながら、一歩一歩ステップを踏むような形で、物事を進めていければと思っている。

並里（なみざと） 晴男（はるお） 議員

※2　絶滅危惧種1A類
ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が高いもの。

夏休みシャトルバス（観光バス）の料金は徴収すべきだと思うが

村長 次年度は事業を停止し、関係機関と夏場の観光客の足の確保について協議したい

夏休みシャトルバス

問 ゆり祭りの無料バス同様に夏休みの港～旅行村～城山～港へのバスも無料となっている。夏休みだけでも理解できないのに、9月いっぱい継続された。

9月14日には村老人クラブ連合会主催のゲートボール大会が屋内運動場で開催されたが、その前の練習期間から試合当日まで旅行村入口で、客が誰一人も乗車していないバスが何度も往来するのを目の当たりにした。練習中多くの年配者から「村は無人バスの運行にも金を払うのか」や「そんな贅沢な金が村にあるのか」等々、数多くの苦情が寄せられた。そこで次の点について伺う。

①シャトルバスの契約内容と夏休み期間だけでなく9月末まで継続運行した理由は。

②夏休み期間と9月末までの乗客実績は。

③運行計画に対する無人運行の回数は。

④バス料金を無料にしたことによる観光客の増加状況とその経済効果は。

答 村長

夏休みシャトルバスについては、運行回数を今回伸ばして実証事業として一括交付金を活用させていただいた。しかし無人運行バスの回数が多く、村民の皆さんから様々な御指摘を受け、事業への不信感を招いたことに対し、心からおわびを申し上げる。

①伊江港へのフェリーの発着に合わせて運行回数を定め、1日あたりの運行時間と走行距離を積算し、村内に事業所がある伊江島観光バスと契約を行った。昨年9月は土日や祝祭日のみの運行であったが、観光客のニーズに応え、今年度は9月の平日も運行した。

②夏休みは、33日間運行し、延べ1，865人、9月は30日間運行し、延べ826人が乗車し、全体で63日間運行し、延べ2，691人が乗車している。

③無人運行は、夏休みが1日9便運行し33日間で、885便中578便（65．3％）、9月が1日8便運行し、30日間で720便中517便（71．8％）だった。

④昨年の夏休み期間の乗車実績と比べ、約2倍の乗車があった。観光客向けプレミアム付き商品券を販売し、飲食や土産品の購入に一定の効果があったと考えている。今回の実証結果を踏まえ、見直すべきものを検討し次年度以降の実施については、観光協会や関係機関と夏場の足の確保を協議したい。

問 9月の一般質問の中で、村長は無料にする理由として何度も「観光客はフェリー運賃を払って来島されており、これ以上の経済負担はかけられない」との答弁だったが、今でもそう考えているのか。

答 村長

本部町が町内のホテルを結ぶ無料バスを一括交付金で実施しており、その中で「伊江島にも行ってみたい」との話があるとのことで、シャトルバスを本部港まで延長してもらった。本村への観光客の誘客の一つになると思い、村内でも無料バスを実施した。次年度は無料バスを止めて夏場の観光客の足の状況をみきわめたい。

問 本部港切符売場入り口に「夏休みは伊江島へレッツゴー!!無料シャトルバスが運行中」と書かれた桃太郎旗が立っている。無料バスで観光客が増えるとは思えない。村長が考える観光施策はただ人が来ればいいのか。島にお金を落とさせる考えはないのか。また、港の近くではレンタカーや貸し自転車業の方もいる。その方々に迷惑はかからないのか。その様な気持ちが少しもないのか。

答 商工観光課長 金城幸人

事業開始前に、レンタカー業者には事業説明をさせていただいた。売上は若干減った。影響はあったと考えられる。

問 議会と村民との意見交換会の中で、花卉農家からは農薬の補助はできないかとの要望があり、今、畜産農家の方は飼料が高騰し、牛のセリ値はだいぶ下がって大変苦労されている。離島の人口が減り、農業人口が減れば、耕種部門は少なくなり畜産が農業の主流になると言われ、畜産を守りたいとの思いがある。皆さんの知恵を出し合い、観光客の負担を考えるのではなく、一括交付金は村民の為に使ってほしい。

島袋 義範（しまぶくろ よしのり） 議員

博物館の機能を有する（仮称）歴史、文化、民俗資料館の建設について再度問う

教育長 新庁舎建設と同時進行で内部検討委員会を設置し、建設に向けて取り組んでいく

問 平成27年3月定例会で博物館の機能を有する（仮称）歴史、文化、民俗資料館を新たに建設することはできないかの趣意の一般質問に、島袋秀幸前村長は、「（仮称）歴史、民俗資料館検討委員会を立ち上げ、島に残された貴重な文化遺産である、名所、史跡や具志原貝塚を歴史民俗教育及び観光資源として整備し、保存活用について検討する。また、基本構想を策定する中で、民間の開設している3か所の資料館設置者と協議し、どのような博物館、資料館にすべきか検討を重ね、新たな展示施設や具志原貝塚などの整備を進めていく」との答弁であった。

令和2年3月定例会の並里議員の（仮称）伊江村歴史民俗資料館建設の必要性を伺うとの一般質問に、宮里徳成元教育長の答弁は、「既存の郷土資料館、平和資料館は展示スペースが狭く、資料館建設の必要性を実感し、具現化に向けて取り組んでいるところである」との答弁であったが、現今、建設についての進展は見えない。

そこで、行政の継続性を鑑みて資料館建設についての、現村長、現教育長の見解を伺う。

伊江村郷土資料館・平和資料館

答 教育長 玉城洋之

公共施設の整備として、新庁舎建設が優先課題となっており、新庁舎建設と並行してホール等の機能を兼ね備えた複合施設の整備ができないか。その場合、旧庁舎となる現在の庁舎を博物館や歴史・文化・民俗資料館を兼ね備えた（仮称）文化センターとして活用できないか等、資料館建設と新庁舎建設は関連性が高いことから、令和6年度から新庁舎建設と同時進行で資料館建設の内部検討委員会を設置し、建設に向けて取り組んでいく。

中央公民館2階の図書室を移転し図書館建設の考えはないか

教育長 時代に即した図書館となるよう調査研究を進めていく

問 先般、中央公民館2階の図書室を参観し、図書室は、そこらの倉庫を連想させ読書の場所としては、時代にそぐわない違和感があった。本村には、書店もないことから、本格的な図書館建設を熱望する村民も多々いると考えている。そこで、図書館建設の考えはないかについて問う。

答 教育長 玉城洋之

建設費用や維持管理費等、村の財政負担を考えると、歴史・文化・民俗資料館を兼ね備えた（仮称）文化センターに図書館を併設した複合施設として整備ができないか検討していく。その場合、多くの村民が足を運び、憩いの場所として、時代に即した図書館となるよう調査研究を進めていく。

亀里 敏郎（かめざと としろう） 議員

意見書　第2号　12月14日

「現物給付」への国のペナルティを直ちに全廃することと18歳までこども医療費無料制度早期実現などこども医療費無料制度の改善を求める意見書を可決（一部抜粋）

1. こどもの医療費助成制度を現物給付にした市町村への国民健康保険への国庫補助の削減は少子化対策にも逆行するものであり、直ちに条件を付けず全廃すること。
2. 18 歳までの医療費無料化を国の制度として実現すること。

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣へ提出

意見書　第3号　12月14日

米空軍横田基地所属CV22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまで全てのオスプレイの飛行停止を求める意見書を可決（一部抜粋）

1. 事故原因が究明され再発防止策が講じられるまで、全てのオスプレイの飛行を停止すること。
2. 事故原因を早期に究明しその結果を速やかに公表すること。
3. 事故発生時には迅速かつ正確に、機体に関する危険性などの関係情報を含め速やかに提供すること。
4. 普天間飛行場の一日も早い返還を実現すること。
5. 日米地位協定を抜本的に見直すこと。

あて先　内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、沖縄及び北方対策担当大臣、沖縄防衛局長

決議第1号　同様の抗議文を

あて先　駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在日米国総領事に提出

あの質問・質疑どうなった!?　令和5年6月定例会

難病患者等の経済的な負担軽減への支援事業の拡充はできないか

質　「沖縄県離島患者等支援事業」の助成対象となる「がん患者、小児慢性特定疾病児童、指定難病患者、特定疾患患者等」への支援措置がなされていない状況にある。離島患者支援事業を最大限に活用し、難病患者等の通院費の経済的負担を軽減するべきではないか。

答　県の離島患者等通院費支援事業で対象となる疾病をもつ離島患者等への通院費支援の事業化について、早急に検討を行い、離島患者等へきめ細やかな支援を行っていきたい。

現　令和5年9月から、離島患者等通院費支援事業がスタート。受付は、医療保健センター2階医療保健課で受付を行っている。

伊江村立診療所・医療保健センター

発議　第1号　2月1日

伊江島補助飛行場でのパラシュート降下訓練中における提供施設区域外への落下事故に対する意見書を可決

1月25日午後1時45分頃、伊江島補助飛行場でのパラシュート降下訓練中に、隊員3人が強風に煽られ、演習場フェンスから約200m離れた提供施設区域外の畑及び農道に落下した。農作物等への被害はなかったものの、付近には農作業に従事する村民や車両が往来する場所であり、一歩間違えば大惨事となる可能性もあった。また、隊員3人の落下は危険性が高く断じて許されるものではない。

伊江村議会は、パラシュート落下事故及び在沖米軍による事件・事故に対し、これまで幾度となく再発防止を強く要請をしてきたにもかかわらず、今回の事故が発生したことは極めて遺憾であると同時に、米軍の訓練に対する認識の甘さと米兵に対する安全教育、徹底指導がなされていないことを証明するものであり、強い憤りを感じる。

よって、本村議会は村民の尊い生命及び財産、安全・安心な生活を守る立場から提供施設区域外へのパラシュート落下事故に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を強く要求する。

記

1. 事故原因を徹底究明し、その結果を速やかに公表すること。
2. 悪天候時の訓練は中止すること。
3. 伊江島補助飛行場における訓練時の飛行経路を徹底遵守し、民間上空を飛行しないこと。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和6年2月1日　　沖縄県国頭郡伊江村議会

あて先　内閣総理大臣、外務大臣、防衛大臣、内閣官房長官、沖縄及び北方対策担当大臣、外務省特命全権大使、沖縄防衛局長

発議第2号　同様の抗議文を

あて先　駐日米国大使、在日米軍司令官、在日米軍沖縄地域調整官、在沖米国総領事に提出

沖縄防衛局長に対し、全議員で提供施設外への落下事故に対し厳重に抗議　2月5日

伊藤晋哉沖縄防衛局長に対し意見書を読み上げる渡久地議長

意見書を手交する渡久地議長

議決の結果

令和5年 第9回定例会

令和5年12月12日（火）～令和5年12月14日（木）

議案番号	件名	議決結果
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について（東江前区：玉城綾子（たましろあやこ）氏）	原案適任
議案第66号	伊江村国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案第67号	伊江村企業版ふるさと納税基金条例の制定について	〃
議案第68号	伊江村移住定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の制定について	〃
議案第69号	伊江村移住定住促進住宅新築工事の請負契約の変更について	〃
議案第70号	伊江島蒸留施設機能拡充事業整備工事（建築）の請負契約の変更について	〃
議案第71号	令和5年度伊江村一般会計補正予算（第6号）	〃
議案第72号	令和5年度伊江村診療所特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第73号	令和5年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	〃
議案第74号	令和5年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	〃
議案第75号	令和5年度伊江村水道事業会計補正予算（第3号）	〃
議案第76号	伊江村手数料条例の一部を改正する条例の制定について	〃
発委第3号	伊江村議会議員の請負の公表に関する条例の制定について	〃
意見書第2号	「現物給付」への国のペナルティを直ちに全廃することと18歳までこども医療費無料制度の早期実現などこども医療費無料制度の改善を求める意見書　※P8参照	〃
意見書第3号	米空軍横田基地所属CV22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまで全てのオスプレイの飛行停止を求める意見書　※P8参照	〃
決議第1号	米空軍横田基地所属CV22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまで全てのオスプレイの飛行停止を求める抗議決議　※P8参照	〃

令和6年 第1回臨時会

会期：令和6年2月1日（木）

議案番号	件名	議決結果
発議第1号	伊江島補助飛行場でのパラシュート降下訓練中における提供施設区域外への落下事故に対する意見書　※P9参照	原案可決
発議第2号	伊江島補助飛行場でのパラシュート降下訓練中における提供施設区域外への落下事故に対する抗議決議　※P9参照	〃

◆議案第67号 企業版ふるさと納税ってなぁに!?

地域の課題解決に貢献したい企業が、国の認定した地方公共団体の地方創生の取組みに対し、企業が寄付を行った場合に、法人関係税から税額控除される制度です。

伊江村議会初の

議会報告・村民との意見交換会

12/6

～あなたの声、議会に届きましたか～

議会報告・村民との意見交換会を12月6日（水）はにくすにホールで開催し、46名の参加がありました。議会報告会（議会のしくみや議員報酬等）、団体から事前に頂いた質問の回答、当日参加された方からの質問、回答を行い午後7時から午後9時まで活発な意見が飛び交いました。

当日の質問を一部紹介

- 農薬、出荷箱等の助成について
- 堆肥の支援について、年末までの期間となっているが殺到した場合の対応は大丈夫か
- 北部テーマパークの開園に向けて伊江村にも波及できるような取り組みを
- ふるさと納税を活用した地域観光を
- 以前実施していた大型特殊の免許取得を島でできるよう復活できないか
- 伊江村青少年旅行村のビーチ整備について

詳しい内容については、令和6年6月号（No.185）に掲載!!

傍聴者の声 一部紹介

村婦人会役員等12月定例会

12/12

感想やご意見ありがとうございました

Q1 「議会広報　いえそん」をご覧になったことはありますか。

①いつも見ている（8人）　②見たことはある（5人）

Q2 もし、あなたが議員ならどのような質問をしますか。

- 子育て支援の充実、子供食堂。
- 保健所の許可した調理場があると新しい商品開発に繋がるのでないか。
- 台風時フェリーの避難港の建設、大口港西側にフェリーが避難できるドッグを建設したら、避難中に船員が家を空ける事で家族に負担がかからなくなる。また、ドッグを造る事で船の検査等を島で出来る事による技術者の雇用が図れ、多くメリットが生まれる。村においてその考えはないか。

Q3 議会傍聴の感想をご自由に記入ください。

- 初めての議会傍聴、貴重でした。
- わかりやすく、傍聴してよかった。また傍聴に来たいと思います。
- 全課長の出席は必要かな？
- 島らっきょうの冷蔵庫についての質問すばらしいと思いました。
- 子供の森に咲く、ボウコツルマメも楽しみです。
- 資料となる物はコピーして、一人一枚ずつ配布できるようにしてほしい。より一般質問が理解しやすくなる。

議会広報 いえそん

第20回沖縄県町村議会広報コンクール 最優秀賞 2連覇

賞状を手に喜ぶ広報委員と事務局職員

編集方針や企画性を高く評価

広報コンクールにおいて議会広報「いえそん」が第19回（令和３年度）に続き２回目の最優秀賞に輝いた。広報委員会の並里晴男委員長は「住民（読者）目線で、用語の説明や文字の大きさなどを工夫した。お年寄りの題字記入や小中学生による議会傍聴やあの質問どうなった？村の広報誌『イーハッチャー』とのコラボレーションクイズなどの企画やデザイン構成も高く評価された。『老人ホームいえしま』や『ふさと苑』、『昴』の皆様、（株）ちとせ印刷の皆様をはじめ、ご協力いただきました皆様に感謝」と笑顔。

年４回（3月・6月・9月・12月）の広報紙発行をお楽しみに♪

２月27日（火）沖縄県町村議会議長会の総会で表彰された。

第1回コンクールは平成7年度から開催され、第12回（平成19年度）から隔年開催。
第14回（平成23年度）に奨励賞を受賞、第19回最優秀賞（令和3年度）を受賞

令和5年 高齢者叙勲

内間俊英氏、大城徳二氏 旭日単光章受章

内間俊英氏は、昭和49年から昭和61年までの3期12年の議員在任中、地域の産業、教育、文化、福祉の向上に努めた。昭和53年から8年間は経済常任副委員長を務め、村政の発展と住民福祉の向上に尽力した。退任後も伊江村教育委員に就任し、村の振興発展に貢献された。

大城徳二氏は、昭和53年から平成10年までの5期20年の議員在任中、地域の産業、教育、文化、福祉の向上に努めた。昭和61年から4年間は総務常任委員長を務め、村政の発展と住民福祉の向上に貢献された。

御二人の功績はきわめて多大であるとして、旭日単光章を受章された。

渡久地政雄議長と内間俊英氏（大城徳二氏は一身上の都合により自宅にて伝達）

沖縄県町村議会広報研修会（広報クリニック） 1/30

町村議会広報編集委員・議会事務局職員

熊本大学客員教授で議会広報ファシリテーターの越地真一郎氏を講師にお招きし「少しは化けましたか！！」～創意、熱意の取組みに学ぶ～と題した研修会に、議会広報委員と事務局職員が参加した。伊江村を初め他４町村が発行する議会広報誌について、越地氏がインタビュアーとなり質問形式の研修会が行われた。

越地真一郎氏から「議会広報いえそん」について質問を受けている様子

伊江村議会の活動報告 令和5年

◆一般質問

議会	人数	件数
3月定例会	6	7
6月定例会	6	9
9月定例会	6	9
12月定例会	6	9
合計	24	34

◆議会傍聴人数

議会	人数
3月定例会	14
6月定例会	26
9月定例会	34
12月定例会	11
合計	85

◆議会開会数

（定例会４回、臨時会５回）

◆意見書及び決議

- 森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書（9/14）
- 「現物給付」への国のペナルティを直ちに全廃することと18歳までこども医療費無料制度早期実現などこども医療費無料制度の改善を求める意見書（12/14）
- 米空軍横田基地所属ＣＶ22オスプレイの墜落事故に抗議し、原因究明・再発防止策が講じられるまで全てのオスプレイの飛行停止を求める意見書及び抗議決議（12/14）

3月に卒業をする
伊江中3年生に聞いてみました！

①伊江島のいいところは
②将来こんな伊江島にしたい
③将来の夢について

私たちの未来

川平区
島袋（しまぶくろ） れあ

①・島ならではのイベントが沢山ある。
・地域のみんなが優しくて、元気がある。
・観光スポットが多くて、自然が豊か。
②県外の方々に、伊江島のイベントをアピールして、伊江島に来たいと思える人が多くなるようにしていきたいです。
③まだ、決めていませんが、高校に入って、検定や資格を取得して、自分の将来の夢を見つけられるように頑張りたいです。

西江上区
山城（やましろ） 桜咲（さささ）

①・地域の人がみんな優しくて、話しやすい。
・海がめちゃめちゃ綺麗。・自然が豊か。
②自然が豊かな事を利用した観光に力を入れて、観光客が多くくるような島にしたい。
③動物に関われる仕事をしたいです。そのために、仕事を調べて、自分がなりたい！と思える仕事に向かって努力します。

西江前区
知念（ちねん）こなつ

①人が優しくて行事がいっぱいあるところだと思います。
②村外に出た人がまた戻ってきて、活気あふれる伊江島にしたいです。
③人とたくさん関われてやりがいのある仕事に就きたいです。

東江上区
小那覇蓮斗（おなはれんと）

①地域の人は温かく、自然豊かで魅力的な島です。
②飲食店を増やす、伊江島は外食できる場所が少ない と思うから、増やしたいと思う。
③料理人になって島へ帰ってきます。そして飲食店か居酒屋を作ります。

東江前区
知念（ちねん） 優成（ゆうせい）

①村民のみなさん優しくて、元気な所と挨拶をしてくれる所です。
②村外に出た人がまた戻ってきて、活気あふれる伊江島にしたいです。
③村民の役に立つ事が出来る、伊江村役場で働きたいです。

東江上区
當銘（とうめ） 海渡（かいと）

①海が綺麗、山も綺麗という一つの島に美しい景色が数えきれないほどある。
②ゆり祭りや伊江島一周マラソンなどの島のイベントをより活性化してもっと観光客を呼び込めるようにしたい。
③将来の夢は、教師と大好きなバレーボールを一生続ける事なので、これからも文武両道に励みたい。

議会の活動

12月 December

1日：経済・公営企業常任委員会(経済・公営企業常任委員)
3日：村政功労者表彰式、第51回産業まつり表彰式(議員)
4日：町村議長会定例会・懇親会（議長/那覇市）
5日：国民健康保険運営協議会（副議長）全員協議会(全議)
6日：「人権の花」開花式（議長/西小学校）
議会運営委員会、全員協議会
議会報告・村民との意見交換会(全議)
7日：村社協理事会（議長）
村社協評議委員会（虻江修議員）
8日：例月出納検査（虻江修監査委員）
10日：第12回ハイビスカスカップ小中学生ゴルフ大会（議員）
12日～14日：第9回伊江村議会定例会(全議)
18日：ゆり祭り実行委員会（正副議長）
19日：令和5年度伊江村和牛改良組合総会（議長）
20日：経済・公営企業委員会(経済・公営企業委員)
22日：令和5年度伊江村福祉団体交流望年会(島袋勉議員)
23日：伊是名村役場庁舎落成式(副議長/伊是名村)

1月 January

4日：二十歳を祝う集い（議員）
新年交換会(議員)
5日：消防出初式（議員）
9日：九州各県町村議会議長会協議会(議長/鹿児島県)
11日：例月出納検査（虻江修監査委員）
15日：初セリ市（議員）
北部市町村会・北部議長会新年会（正副議長/名護市）
17日：令和5年度沖縄県市町村自治会館管理組合役員県外視察研修
（議長/栃木県・福島県）
19日：伊江村防災会議（並里晴男議員）
令和6年建設業協会北部支部新春の集い（議長/名護市）
20日：やんばるの物産展（議長/那覇市）
24日：名護東道路における延伸の早期実現要請(議長/東京都)
26日：沖縄防衛局へパラシュート落下事故に対する要請行動（議長/嘉手納町）
27日：北部地区医療人会新年会(議長/名護市)
30日：町村議会広報研修会(広報委員・議長/那覇市)

消防出初式

2月 February

1日；第1回伊江村議会臨時会
3日：ハイビスカス協会総会(議長)
5日：沖縄防衛局へパラシュート落下事故に対する意見書提出（全議/嘉手納町）
7日～8日：北方領土返還要求全国大会、
全国町村議会議長会定期総会・都道府県会長会（議長/東京都）
13日：定期監査（虻江修監査委員）
14日：例月出納検査（虻江修監査委員）
健康づくり推進協議会（議長）
14日～15日：介護広域組合議会定例会及び研修会(島袋義範議員/読谷村)
15日：広報委員会（広報委員・議長）
16日：令和6年第1回沖縄県北部医療組合議会(定例会)（副議長/名護市）
20日：市町村自治会館管理組合議会定例会（議長/那覇市）
27日：北部広域組合議会定例会（議長/名護市）
町村議会定例理事会・総会(議長/那覇市)
28日：離島議員定期総会・研修会(議員/那覇市)
29日：町村議会議員・事務局研修会・交流会(議員/那覇市)

やんばるの物産展

私（わたし）が いえそん を 書（か）きました！

題字記入者

名前	城間梅栄（しろま ばいえい）
生年月日	昭和2年生　満96歳
行政区・屋号	東江前・グスクマンヤー

職員からみた梅栄さん

昨年カジマヤーを迎え、ますます元気な梅栄さんです。来苑されると新聞２紙にゆっくり目を通され、掲載記事について自分なりの意見を述べられます。先日は「首里城が復元されたら見に行きたいな」とおっしゃっています。ゲームでは「うり！うり！うり！」と身を乗り出して熱くなることもしばしば。

ドゥンチュイムニ　独り言　健康第一

昨年からコロナも落ち着き人の交流や経済も活発になりましたが、現在、県や村内においては、インフルエンザが流行し、引き続き、感染対策を心掛けて行きましょう。

さて、友人から届いたメッセージに私の性格を知ってのことか「健康と家族が一番、酒は五番」と書かれていました。！？

その言葉に“ウチアタイ“（伊江島方言辞典:心に響くこと、痛みに入ること）し、新年早々、「健康」について考えさせられました。

話は変わりますが、昨年12月に初めて「議会報告及び村民との意見交換会」を開催したところ、各団体や村民から幅広いご意見やご要望がございました。

全議員で議論を積み重ねて対応していきます。

今年辰年、「健康」で明るく住み良い村づくりに向けて取り組んで参ります。

伊江村議会議長　渡久地 政雄

今月の表紙

今月の表紙は、花と食のフェスティバル2024が開催され、野菜部門（島らっきょう）において、金賞（沖縄共同青果社長賞）を受賞した儀間五子（ぎまいつこ）さん（左側）は、島らっきょう600坪、にんにく200坪を栽培しています。また、葉物部門（モンステラ）において、金賞（九州山口花き園芸連絡協議会長賞）を受賞した友寄明美（ともよせあけみ）さん（右側）はモンステラを1,100坪栽培しています。

▶ 3月定例会予定　3月7日（木）午前10時～

議会傍聴を希望される方は、議会事務局へお問合せ下さい。

発熱や風邪、倦怠感のある方はご遠慮いただく場合がございますのでご理解ください。

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980)49-2924　伊江村議会事務局

発行／伊江村議会
〒九〇五―〇五九二 沖縄県伊江村字東江前38
TEL〇九八〇―四九―二九二四
編集・印刷／㈱ちとせ印刷
TEL〇九八―八七九―五八一四

印刷インキに植物由来の原料を配合して、温室効果ガスの発生を低減しています。
UD FONT 読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用しています。